



未納料金対策実務研修会（大阪会場）（9月15日～9月16日）

水道事業及び賛助会員の主に料金徴収業務に携わる方々66名の参加を得て、未納料金対策について実務を中心とした研修会を実施した。

また、グループ別のディスカッションに於いては、活発な情報交換が行われた。

第60回水道 GLP 認定委員会（9月27日）

水道 GLP 認定について、熊本市上下水道局（申請番号：JWWA-GLP074）が新規に認定された。また、認定更新検査機関として吹田市水道部（認定番号：JWWA-GLP030、9月25日付）、認定維持検査機関として柏崎市ガス水道局（認定番号：JWWA-GLP051）及び釧路市上下水道部（認定番号：JWWA-GLP052）が、それぞれ審議され決定された。

平成23年度漏水防止講座（第3回：9月28日～9月30日）

水道事業及び賛助会員の漏水防止に従事する技術職員の方々58名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターにおいて研修会を実施した。第1日目及び第2日目に「漏水防止概論」、「漏水防止の現状と課題、これからの漏水防止」、「漏水防止作業」、「漏水探査技術」について講義があり、第3日目には、漏水防止関連機器を使つての現地研修を行った。

平成23年度浄水場等設備技術実務研修会（第4回：10月4日～7日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々5名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに設備機器の保守・管理の実務について、研修を実施した。

第656回抄録委員会（10月7日）

本誌1月号に掲載する外国文献の抄録内容及び海外文献目録の和文題名について審議した。

第1回水道施設管理業務検討専門委員会（10月11日）

本委員会は、浄水場の運転管理などを外部に委託する業務委託について、業務内容を適切に評価するための基準や評価制度等を検討することを目的として、今回1回目の委員会が開催された。

まず、議題①「委員長の互選について」が上程され、東京大学大学院の滝沢委員が委員長として選出された。



次に、議題②「水道施設管理業務検討専門委員会について」は、事務局より本委員会の設置目的、検討事項、スケジュール等について説明を行い、引き続き、各委員より所属事業体における業務委託の状況説明が行われた。議題③「業務評価指標について」は、事例紹介と本委員会における業務評価指標の項目について審議が行われた。また、議題④「業務委託に関するアンケートについて」は、アンケートの実施について審議が行われた。

平成24年度上水道関係予算の確保についての陳情（10月12日）

平成24年度水道関係概算要求を受けて、民主党、国民新党の衆参国会議員、財務省に対する要望活動を事務局にて実施した。概算要求の補助金総額1,362億円、地方債計画案における、上水道企業債3,483億円、公営企業借換債300億円の満額確保を求めるとともに、貸付利率の見直し、償還期限の延長、地方公共団体金融機構資金における臨時特別利率枠の存続などを要望した。また、東北地方支部の依頼を受け、「震災による減収に対する財政支援制度の拡充・創設」、「放射性物質を含む浄水発生土の取扱い」について要望した。